

複式学級の解消に関する説明会 会議録（須加）

- 1 開催日時 令和3年2月28日（日）午前9時00分～10時45分
- 2 開催場所 須加小学校体育館
- 3 出席者 45名（保護者28名、地域17名）
- 4 教育委員会 鈴木教育長
 学校教育部 吉田部長、荻原参事、諸貫次長
 教育総務課 上野主幹、久積主査、柏瀬、田沼

5 会議内容

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司会	1 開会
鈴木教育長	2 あいさつ
諸貫次長	3 複式学級の解消に関する経緯 ・資料を基に説明
出席者A	4 質疑 荒木小なら統合でも令和4年4月に間に合う、他の学校だと間に合わないという話だが、令和4年4月ありきで物事が進んでいる気がする。令和4年4月にこだわる理由は何か。
諸貫次長	複式学級が何年も続いているので、複式学級を解消することを最優先に、可能な限り早期に解消する必要があると判断している。令和4年にこだわるというよりも、なるべく早期に子供達の環境を改善させてあげたいという考えに基づいている。
出席者A	令和4年4月に解消してほしいという事を須加地区から要望としてあったのか。
諸貫次長	具体的な要望としてあげられているものではない。
出席者A	具体的な要望がないのに、令和4年4月だけが一人歩きしているということではないか。
諸貫次長	早期に複式学級を解消したいという考え方に基づく計画を示して、進めさせていただいている。

吉田部長	<p>これまでの見沼中学校区の義務教育学校は令和4年開校ということで進めてきた。複式学級の解消が令和4年4月にできると期待している保護者の方もいた。残念ながら義務教育学校の計画は白紙になったが、令和4年4月の複式学級解消は進めていきたい。令和4年4月を目標としている。</p>
出席者A	<p>令和4年4月に決定したわけではないことでもいいか。</p>
吉田部長	<p>決まっていないが、教育委員会として令和4年には解消したいということで、今までも説明させていただいている。</p>
出席者A	<p>教育委員会では令和4年4月ということで考えているけど、決まっていなくて、これからの話し合いでずれる可能性もあるということでもいいか。</p>
吉田部長	<p>実現に向けて話し合いを進めていきたい。</p>
出席者A	<p>これは須加地区だけの問題でなく、市全体の問題だと思う。いずれ行田市で統合等が起きるとい話は伺っている。須加地区だけでない今後の行田市全体の統合がどうなっていくのかというものを示していただきたいとずっと言っているのだが、特に何も示されていない。先ほど羽生市では示されているという話があって、1ヶ月くらい前の新聞に羽生の議員が羽生市はこうなりますというものを示している。「そうしたものを示してください。そうしないと学校を選べません。」という話をずっとしているのだが、いつになったらお答えいただけるのか。</p>
吉田部長	<p>行田市も平成31年3月に行田市公立学校適正規模・適正配置の基本方針及び再編成計画を作成している。その計画に則って再編成を進めてきたが、義務教育学校の部分については白紙になったので、計画に沿わない部分が出てきている。そのため、来月に通学区域等審議会を開催して、計画通りになっていない部分を含めて議論していただき、部分的修正になるのか、大きな修正になるのかわからないが、改めて計画を作成して、示したいと思う。</p>
出席者A	<p>明日からやるという中で、この話を須加地区でやっているというのは、ずれていないか。</p>
吉田部長	<p>これまでも複式学級の解消に向けた保護者説明会等を行っており、今</p>

出席者B	<p>日は地域の皆様にも今の状況をわかっていただく説明会になる。今日この場で決める訳でない。これまでの皆さんの意見を保護者、地域の皆様に知っていただいて、少しでもいい方向に進んでいくようにするための説明会である。</p> <p>自分の子供が今5年生で、令和4年に中1になる。昨年から何回かこのような会議に参加しており、色々な保護者の意見や教育委員会と先生方の話を伺っていて、そのたびに色々な意見を交換して、自分の中では理解し合っているという認識をしていたのだが、残り1年というところで、どれくらいに結論がでるのかを確認したい。子供達と色々な話をする中で、「どうなったの?」、「見沼中はなくなっちゃうの?」と素朴な疑問として聞かれた時に、現状、親として答える事ができていない。皆さん忙しい中時間を割いて来ているのに、前進していないというか、前来た時とあまり変わっていない気がする。少なくとも自分の周りの保護者は進んでいる前提で今日も来ている。決定した内容を聞きたくて来ているのに、いつも同じ様な説明で終わってしまう。いつくらいに出るのか教えてもらいたい。</p>
吉田部長	<p>教育委員会としては当初、3月中に方向性を固めたいという思いだった。保護者と話し合いを進める中で色々な意見をいただいたので、丁寧に話を進めていきたいと考えている。今の目標では、4月くらいにはある程度固めたいと思う。今後、アンケート結果をさらに分析して、数字だけで追えない部分を保護者に説明をさせていただいて、アンケートでは4校について聞いたが、これをさらに絞った形で議論していきたい。</p>
出席者C	<p>今回、小学校の統廃合の話だが、中学校にも繋がってくる話だと思う。以前配られた資料の中に、選択で長野中に行くことが出来るという事が書いてあったと思う。見沼中の統廃合という話になっていく事もあると思うが、どのように考えているのか。</p>
吉田部長	<p>中学校について心配している保護者もたくさんいる。通学区域等審議会の中で皆さんの意見を示して、中学校の方向性を示していきたいと考えている。</p>
出席者C	<p>その場合、見沼中学区の須加、北河原、荒木全体をまとまって、保護者説明会をすることがあるか。バラバラにしてしまうと、他の地域の人がどう考えているのかがわからない。</p>

吉田部長	<p>中学校区を議論する中で保護者の方に意見を伺う場は設けると思う。そういった時には、小学校単位でなく見沼中として開催することを想定している。</p>
出席者D	<p>通学区域等審議会の委員は、教育委員会の方とは別の方なのか。</p>
吉田部長	<p>教育委員会の職員は事務局という立場になる。校長先生の代表、PTAの代表、公募の市民などで審議をしていただく。</p>
出席者D	<p>複式学級の話を考える中で、どこのお父さんお母さんも中学校を心配している。学校教育は繋がっていくものなので、当たり前のことだと思う。それを考えるとなおさら、この小さな地区だけで話し合っていていかなと思っている。通学区域等審議会で話が出て、区域を大幅に改正するとなった時に、須加地区が違う学校に行くとか、北小が見沼中に編成するというような話になる可能性もあるのか。</p>
吉田部長	<p>具体的な話が出たが、審議会の中でどのような意見になるかわからない。ただ、これまでの再編成計画だと最終的には市内を4つの中学校にまとめるような計画であるので、想像だが、北小を見沼中という話にはあまりならないのではないかなと思っている。</p>
出席者D	<p>複式学級の解消について色々説明を聞いてきて、教育委員会の方が考えてくれているのはわかるのだが、令和4年に複式学級を解消したからといって、物事が前に進んでいる気がしない。行田市内全体の問題だと思っている。兄弟がいて、これからも関わる家庭もある。今回の資料でも減少率が出ているので、どこをいつ統合する、どのようなペースで進めていくべきかを示してもらいたい。ただ令和4年4月に須加小の複式学級は解消しますと言われても、その後の中学校がどうなるのかなどは気になる。わかりやすく計画性をもってやっていただきたい。複式学級を解消すれば、行田市内の教育環境の問題が変わるのかというのは疑問である。</p>
吉田部長	<p>この先の事について示せるものは、できるだけ早く知らせていきたいと考えている。</p>
出席者A	<p>アンケートの結果を読んだのだが、須加小を存続させてほしいという方が結構いる。今回のアンケートもそうだが、須加を残したい人がどれくらいいるか把握しているか。</p>

吉田部長	人数は把握していない。
出席者A	それは一番やらないといけないことでは。
吉田部長	学校を存続したまま複式学級を解消するというのは難しい。そうしたことから、学校の廃校を方針として示して、その中で保護者の皆様に考えていただきたいと思っている。
出席者A	おそらく、須加小を残したい人の中に複式学級を解消してほしいと考える人はほとんどいないと思う。残してほしいという人と教育委員会の考えに開きがあると思う。複式学級でもいいから須加小を残したいという思いがあるのではないかと思う。それがどのくらいの割合なのか把握せずに、いきなり学校廃校ですというのは、やり方が汚くないか。
吉田部長	既に義務教育学校の準備の中で保護者の皆様にもそういった事は話をさせていただいており、一定の理解を得ていると思っている。
出席者A	理解されていないから、今回のアンケートでも学校を残したいという声が出てきているのではないか。
吉田部長	義務教育学校がなくなったことで、保護者の皆様の考えがリセットされて、色々な思いがあると思う。確かに残してほしいという思いはあると思う。アンケートにあるとおり、「希望にこだわらず地域でまとまった学校に変更してもよい」という人が82%いる。
出席者A	それは、こういうアンケートだからであって、アンケートをやるのであれば、須加小を残したいか、廃校でもいいかという問を最初にしなければ、教育委員会でいように作ったアンケートである。だから、須加小を残してほしいという意見が書かれているのだと思う。どのくらいそういった人がいるのかわからないが、それを把握せずに廃校ありきのアンケートを作れば当然こういう結果が出るに決まっている。
吉田部長	教育委員会としては廃校という方針を示している。
出席者A	それで押し通してはいけないと思う。地域と話し合いをしながら進めていくと言っているのに、まずそこを最初にやらなければ、統廃合なんてできない。須加にどのくらい須加小を残したいという人がいるのか分

	<p>からない状況では統廃合なんてできない。</p>
吉田部長	<p>存続してほしいという意見が例えば半数以上占めたとしても、須加小を存続した場合、教育環境をこのまま維持させられるかということは教育委員会としても不可能である。</p>
出席者A	<p>それは教育委員会がやるべきことではないのか。学校が残る以上、その学校の教育を守る事は教育委員会の仕事ではないのか。</p>
吉田部長	<p>それは限界があるため、1日も早く複式学級を解消したい事から方針を定めた。</p>
出席者A	<p>須加小を残したいかというアンケートをお願いしたい。それで統廃合は良いということになれば、そんなには揉めない。須加小を残したいという人が結構いる中で統廃合の話をして、まとまらないと思う。</p>
吉田部長	<p>アンケートに存続させたいかという項目はないが、保護者の皆様は須加小の廃校という方針に沿って回答していただいているという事は一定の理解はしていただいていると考えている。</p>
出席者A	<p>その方針は教育委員会が言っているだけで、市議会で決まっている事なのか。</p>
吉田部長	<p>決まっている事ではない。</p>
出席者A	<p>そうしたら、市議会で決まってない事を教育委員会が押し付けたという風にとられても仕方がないのではないかと。そうならないように須加小をどうしたいのかというアンケートを取っていただきたい。</p>
吉田部長	<p>市議会については、皆様の意向が固まった段階で諮りたいと思う。まずは教育委員会の方針を示して、保護者の皆様と話し合いをしていきたいと考えている。</p>
出席者A	<p>その話をする中で、須加小を残したいという人が大多数だったら、その溝は絶対に埋まらない。その数がわからないままで話し合いをしても、ずっと平行線だと思う。</p>
吉田部長	<p>教育委員会の方針を示させていただいて、一定の理解をいただい</p>

	<p>ると考えている。</p>
出席者A	<p>一定の理解をいただいているのであれば、須加小を残したいという意見は出てこないと思う。</p>
吉田部長	<p>そういう思いはあると思う。ただ、現実的にこのまま複式学級を継続するのは、保護者も望んでいないと思っている。</p>
出席者A	<p>そうしたら、アンケートにこういう意見が出てこない。</p>
吉田部長	<p>残したいと思う人は多いと思う。ただ、その中でも教育環境をしっかり整えてほしいという中からアンケートに協力していただいた。</p>
出席者A	<p>その教育環境を整えるのが教育委員会の仕事ではないのか。</p>
吉田部長	<p>そういうことから、複式学級の解消ということで統合にするのか、編入にするのかを話し合っているところである。</p>
出席者E	<p>先ほどのアンケートの話について、教育委員会としては義務教育学校ありきでスタートしたということがあって、こういう質問は3、4年前に取った方が良かったのではないかと思った。ただ、あくまで保護者の意見であり、6年経てば卒業して、保護者はどんどん変わる。北河原では同じ様な意向を聞いた中で、数年前に合併が反故になった南河原小が一番多かったという話を聞いた。やはり、その年その年で変わってくる。そのため、慎重に意見を選択していただきたい。また、須加小を残した方がいいという話だが、単純に考えれば残した方がいいという考えが多いと思う。先日の市議会の答弁でも市長は民意であれば残してもいいと言った。でも、教育の立場になれば、やはり考えなければならぬとも言っていた。単純に考えないでいただきたいと思う。また、星宮小では、保護者との意見交換会で色々な意見が出て、忍小に決まったという話も聞いている。須加小がどこの学校に行くかわからないが、学校名を変えて、対等の合併になるという考えの基に進めていると思う。また、保護者の方は、一時の事もあると思うが、須加地区の住民として考えて、子供を育てていただきたいと思う。また、教育委員会は一貫性をもって進めてほしい。今まで、こういった会は保護者、地域を別々にやっていた。それもまずかったのではないかと思う。</p>
吉田部長	<p>保護者の皆さんも地域住民の一人として、また、自分の子供が学校に</p>

<p>出席者F</p>	<p>通っていることで深く考えているものと認識している。地域の皆さんの考えも大切だと思うが、まずは、深く考えている保護者に意見を伺って、進めていきたいと考えている。</p> <p>アンケートの集計を見させていただいた。貴重な意見がまとめて書いてあり、ここに結論が出ているのだと思う。つまり、現状維持が結論ではないかと思う。今のままいくというのが最高の選択ではないかと、アンケートの結果から私は判断した。節々に須加小がいい、今のままいくいいと書いてある。15ページの下段から最後の方までがまとめた意見になっているのではないかと思う。教育長からの連絡文書は廃校ありきの文書であるし、廃校にすることを前提としたアンケートではないか。これは違法なことで、一つの学校を潰すということは教育委員会だけではできない。そのことを教育長に申し上げた。教育長からの返答として「学校を閉校とする方針である」という手紙をいただいた。学校の閉校を決定するには、行田市公立学校設置条例の改正を市議会に諮り、承認いただく必要がある。このことは市議会には諮っていない。つまり、廃止は時期尚早である。また、「今後、保護者、地域の皆様との協議により、須加小における複式学級解消の方向性が定まった後、正式な手続きをとる」というのは当たり前の手段である。しかし、最初から廃校というものを掲げて、保護者を脅かし、学校がなくなってしまうと言われた親は「なくなるなら仕方がない」となる。今真剣に地元の親御さんたちは考えている。そういう事を教育委員会は考えていないのか。星宮小が来年なくなる。このままいくと須加小、北河原小はなくなる。3つの学校がなくなることによって、市の財政が2億くらい浮くのか。経済的な事だけ考えて、複式学級の解消という大義名分を掲げて、学校を潰すのは許されるものではない。損得でやっているのか。学校を置いておくのは維持管理費がかかる。でも、3つ潰せば、校長先生も3人いらぬし、教頭先生もいらぬし、先生も大分減らすことができる。経済効果がある。義務教育は他に持って行けばいいとなって、一番困るのはそこでまともって一生懸命やっている子どもたち、そして、そこに住んでいる地域の皆さんである。地域のコミュニティは学校を中心に回っているのはご存じではないか。隣近所が違う学校に通っている所なんて聞いた事がない。同じ組内の方で、一人は西の方に行っている、一人は北に行っているという地域がどこにあるのか。地域の方々は小さい子ほど同じような所に行っている。そして地域の輪がまとまる。コミュニティはそこから始まる。これがバラバラにしてしまったら、須加地区はパンクしてしまう。公民館、自治会、体協、みんながこぞって力を合わせて地域を盛り上げているのは当たり前。それを勝手な所に行きなさいと言えば、同</p>
-------------	--

<p>鈴木教育長</p>	<p>窓会やるにしても隣の子はよその学校だから同級生でないという雰囲気になっていく。協力もできなくなる。それを教育委員会は望んでいるのか。万が一やるとしても、義務教育学校ならば、せめて須加地区の子供達は見沼中に行って、新しい学校を作ってみんなで通うことになるから、ある程度の方は泣く泣く賛成をしたのだと思う。複式学級を解消することは子供達には良い事かもしれないが、それだけが教育ではない。昨日テレビでやっていたが、47人の生徒が通っている学校があり、小学校中学校一貫教育で校長先生が1人で教頭先生が2人いる。それでも生き生き伸び伸びとしている。「少なくて大変ですね」と子供達に聞いたら、「これでいい」、「大きい学校でなくていい。気の合った仲間たちと勉強できるのが一番いい」と答えていた。アンケートの中にもあるが、大きいから良いということだけではない。小さいなりに伸び伸びと教育が受けられるという良い事がある。それを逆なでするようなことをやろうとしている。例えば、津波を起こそうとしているのではないか。水は高い所から低い所に流れる。しかし、これは低い所から高い所に持って行って、引き際に根こそぎ持って行ってしまおうという津波みたいなもの。順序が逆ではないか。地元の人達が賛成して、市議会に賛成をいただいて初めて廃校ができる。頭から廃校を決めつけて、地域の人達を脅かして、やろうとしている。目的は何なのか。複式学級の解消を大上段に掲げて、正義だと言ってやっているのは、わからない。義務教育学校が駄目になったのであれば、何とかそれをやろうとしてもらいたい。そういう方向でやっていただければ、私は賛成する。たった一つの願いは、地域の子供達をバラバラにしないで、同じ学校に通わせてほしい。子供の心情をよく考えてみればわかると思う。わからないなら教育委員会なんていない。質問ではなく文句を言いに来た。正義の事を言っている。だから、この問題は元に戻すことを提案する。</p> <p>地域の思いを代弁していただいているような話だったと思う。ただ、人数が少なくても小中一貫の中で育まれる様々な教育的価値を説明しながら義務教育学校の話をしてきた。説明も十分にできなかったところもあり、義務教育学校については反対であるというご意見を頂戴したため、見沼中学校区の義務教育学校については白紙になった。お話があったとおり、人数が少なくても地元の子供達がその学校に通って、この地域に学校が残るという事を教育委員会として望んでいた事だし、北部の教育全体を考えた時にも今後に繋がるものと考えていた。そこが白紙になってしまい、関係してくれた皆様には申し訳ない。「子供達にとってどんな教育を考えたらいいのだろう」という事で複式学級の解消を最優先課題とした。閉校という手紙については、保護者の皆様の意見を聞く</p>
--------------	--

	<p>中で、色々な思いがあり、それを出し合っても中々決まっていかず、委員会としての方針を出してほしいという意見があった。子供達のこれからの環境を改善していくためには複式学校をこのまま続けたままでは不可能であるという事で、委員会としての方針として廃校の方向の手紙を差し上げた。それを受けて保護者の皆様が須加小をどうしたらいいのかを考える一つの材料にさせていただくために出した。決して財政的な事とか脅しとかという意味ではない。学校は地域に支えられているという思いは同じ。これまで須加小は他の地域に比べても地域の皆様が子供達に関わっていただき、支えてきてもらったと思っている。伝統もある。でも、その学校を手つかずのまま置いておいたら先々どうなるのかを考えた時に、子供達にとって良い方向を考えていかなければならないと思う。今日も色々な意見を頂戴した。それも含めて、アンケートの内容を更に分析した上で、煮詰めていきたいと思う。様々な思いがあると思うが、「これがいつまで続くのか」という気持ちもあると思う。当然、子供達も不安に思っていると思う。そのため、皆さんと更に話し合いを重ねながら、方向をはっきりと示して、その上で大きな計画や中学校の接続などの条件整備をしていきたい。決して須加地区の子供達がバラバラの所に行ってほしいとは思っていない。やはり大きくまとまっていたいで、一つの学校に行かせたいと思っている。そのためにも地域や保護者の皆様の考えを更に聞いて、より良い方向を探していきたい。</p>
出席者F	<p>決して急がないでほしい。令和4年からという結論ありきの話し合いはできない。もう少し時間をかけて、保護者の意見、子供の意見をちゃんと聞いて、「廃校だからどこに行くのか」ではなくて、「この学校をどうするか」という原点から考えて、話を聞いてもらいたい。その方が地域のためにも、皆さんのためにもなると思う。地域の方々、保護者の方々の意見を一番に尊重してもらいたい。学校はそういうものだと思う。教育委員会の都合で学校があるのではなく、地域に欲しいから学校がある。これを間違わないでもらいたい。いつになっても大事なものだと思う。統合するとかは何年先になってもいい。皆さんが納得した上でやってもらいたい。</p>
出席者G	<p>反対意見の中、進んだ内容を質問したいのだが、今、4年生の子供は合併とか編入にとっても興味があって、「早く大人数の中で教育を受けたい」、「いっぱい的人数で遊びたい」と楽しみにしている。中学校の方で心配事があって、「部活を選びたいから長野中に行きたい」と前向きに考えているのだが、通学に関して、最短距離だと車通りが多くて、歩道がなく、危険な箇所がある。安全な所を通っていくと、かなり遠回りに</p>

<p>諸貫次長</p>	<p>なってしまう。道路の整備やバスが使えるかとか、中学校の通学面は考えていただいているのか聞きたい。</p> <p>話し合いの中でも色々ご心配をいただいている。基本的にスクールバスは中学校用としては考えていない。今、循環バスの見直しを進めているので、それを利用していただくとか、また、先ほど指摘のあった通学路の整備については、学校が変わることがなくても常日頃やっていかなければならない事だと思っているので、再編成とは別のご意見としていただければと思う。子供の安全が一番だと思うので、教育委員会としても可能な限り働きかけて取り組んでいきたい。</p>
<p>出席者C</p>	<p>先ほど教育長から話のあった最適な学習環境について、この場では長くなってしまうので、書面などで示していただきたい。それがわからないと合併や廃校も受け入れられないのかなと思う。また、複式学級解消の理由というか、どのようなデメリットがあるのかも、もう少し具体的に示していただけると、今後の話し合いの参考になってくると思う。</p>
<p>諸貫次長</p>	<p>複式学級を解消する必要がないのではないかというご意見もいただいた。なぜ解消しなければいけないのかを具体的に示しながら、保護者や地域の皆様に理解いただけるように、進めていきたいと思う。</p>
<p>出席者H</p>	<p>子供達への説明会があるというのを予定表で見たのだが、何を説明するのか。子供達の意見を聞くのか。できれば教育委員会から押しつけの様な話をしてほしくない。</p>
<p>諸貫次長</p>	<p>保護者の方との意見交換の中でも子供達がよくわからないという意見があり、子供達に今の須加小の状態を知らせる授業を予定している。それは閉校するという話ではなくて、「須加小がこうなっているけど、どう思うか」、「これから須加小をどうしていこうか」という問いかけをさせていただくようなものを予定している。その中で子供達の率直な意見も聞けると思う。</p>
<p>出席者I</p>	<p>その授業を参観してもいいか。</p>
<p>諸貫次長</p>	<p>明日と5日の3、4時間目にクラスごとに実施する予定。学校の方は基本的に来ていただいて大丈夫ということだが、あまり密にならないような人数でお願いしたい。</p>

出席者F	<p>廃校は決まっていないという事を言ってもらいたい。廃校は教育委員会が望んでいることで、決まった事ではないということを確認してほしい。子供の説明でも廃校前提の説明はしないでほしい。この間、市長と電話で話をしたら、「地元、保護者が望まなければ学校を廃校することはない」と聞いている。教育委員会は無理矢理廃校にしないでほしい。</p>
鈴木教育長	<p>あくまでも教育委員会としての方針である。</p>
出席者B	<p>ちょっと前に進んで、また後ろに戻っての繰り返しだと先ほど言ったつもりなのだが、またやりませんとなりそんな気がして仕方ない。今ここで、うまく進まない理由を追求しても仕方ないが、少なくとも自分たち親は、複式学級に初めてなる時に当時の校長先生からちゃんと事情を説明してもらって、親は理解して受け入れて複式学級をやったという経緯がある。その校長先生から「義務教育学校になる」という話を聞いた時も、須加小の保護者は大きく声をあげて「嫌だ」という人はいなかったと認識している。個人的には市とか行政の事情に関心がないので、決まった事に従っているという実態もあるものの、「決まっいてやっている」と思っていた事が「決まってない」とか、段階を踏んで「今この時点にあるんです」とかいう話を聞くと、「じゃあ、誰がどうやって決めるのか」と思ってしまう。上の方々がおっしゃる話もよくわかるのだが、また進み始めていたのがストップとなってしまうと、「長野中なんだよ」、「やっぱり見沼中なんだよ」とそのたびに振り回されるのは私たちなので、それなら決まった段階で決まった話だけをしてもらいたい。10人が10人納得する様な答えは絶対に出ないのだから、どこかで線をひいてくれないと、振り回されてしまう気がしてならない。親は黙っている人が多いと思うのだが、皆さんそう思わないか。ちなみに子供に説明するのは誰がするのか。</p>
諸貫次長	<p>教育委員会に所属している元校長先生が行う。</p>
出席者B	<p>子供達は教育委員会が来ると、少なからず緊張感を持って、良く話を聞くので、以前須加小にいた先生がやってくれば、子供達も教育委員会と言われながらも、心を開いてくれるのかなと思った。1日も早く無事に色々な事が進んでくれるように願っている。</p>
司会	<p>5 閉会</p>

